

厚生年金本体の平成20年度運用実績は 6.83%

対象先	DB年金	厚年基金	適格年金	退職金	DC
内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他

ご参考にDB年金のお客様にお送りしています。

ポイント

平成20年度の厚年本体実績公表に伴い、最低責任準備金調整額にかかる適用利率も 6.83%であること等が厚生労働省から確認されました。

ニュース149において、6.9%と推計していた値の確定値です。

厚年本体の運用利回り

以下のHPにおいて「厚生年金・国民年金の平成20年度収支決算の概要」が公表されており、その中で年金特別会計の厚生年金勘定に係る平成20年度の時価ベース運用収益が 6.83%とされました。

http://www.sia.go.jp/infom/press/houdou/2009/h090804_01.pdf

厚生年金基金への影響

厚年本体の運用利回りは、基金の財政運営上、以下に影響があります。

- 最低責任準備金調整額(期ズレ調整額)の算出に用いる利率
- 最低責任準備金の付利率
- 回復計画上の最低責任準備金の付利率

影響 期ズレ調整額の算出に用いる利率

- ・期ズレ調整額(最低責任準備金調整額) = (1) - (2)
 - (1) 現行基準の最低責任準備金
 - (2) 平成11年10月(コロガシ開始時)から当該事業年度末までの最低責任準備金付利率について、現行の適用期間を1年9ヶ月前倒して算出した額
- ・平成21年3末基準では(1)の算出に必要な利率は既に示されていたが、(2)の算出に必要な利率が示されていないもの(次頁の図)

厚年本体 利回り	(1) 最低責任準備金 付利率(現行)			(2) 期ズレ解消後 付利率
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
平成9年度	4.66%	-	-	-
平成10年度	4.15%	-	-	-
平成11年度	3.62%	-	4.66%	4.15%
平成12年度	3.22%	4.15%	3.62%	3.22%
平成13年度	1.99%	3.62%	3.22%	1.99%
平成14年度	0.21%	3.22%	1.99%	0.21%
平成15年度	4.91%	1.99%	0.21%	4.91%
平成16年度	2.73%	0.21%	4.91%	2.73%
平成17年度	6.82%	4.91%	2.73%	6.82%
平成18年度	3.10%	2.73%	6.82%	3.10%
平成19年度	-3.54%	6.82%	3.10%	-3.54%
平成20年度	-6.83%	3.10%	-3.54%	-6.83%
平成21年度	-	-3.54%	-6.83%	-
平成22年度	-	-6.83%	-	-

影響 最低責任準備金の付利率

- ・ 6.83%は平成22年1月から12月の(期ズレを解消しない)最低責任準備金の付利率としても適用されると思われます。(正式には別途告示で示されるものと思われます)

影響 回復計画上の最低責任準備金の付利率

- ・ 6.83%は回復計画上の平成22年1月から12月の(期ズレを解消しない)最低責任準備金の付利率として適用してよい旨確認されました。
- ・ 付利率の過去3年平均が下表の通りマイナス(負値)となることから、回復計画上の平成23年以降の付利率の見込みが通知改正により3年平均から5年平均に変更される予定です。

(厚生年金本体の運用実績)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
年度実績	2.73%	6.82%	3.10%	3.54%	6.83%
過去3年平均			4.22%	2.13%	2.42%
過去5年平均					

(回復計画策定上の最低責任準備金の付利率)

	平成21年1月~12月	平成22年1月~12月	平成23年以降
付利率 (過去5年平均)	3.54%	6.83%	0.46%
付利率 (厚年本体の前提)	(告示の値)	(今回示されたもの)	1.5%
と の小さい方			0.46%

平成21年厚年本体財政検証における平成21年度の運用利回り前提を記載